

経営上の
問題点

1位「仕入単価、下請単価の上昇」44.9%（前期比▲1.3ポイント）、2位「人件費の増加」33.9%（同▲1.9ポイント）、3位「人件費以外の経費の増加」31.2%（同▲1.0ポイント）、4位「従業員の確保難」29.8%（同+3.2ポイント）と上位4位までは前回順位と同じ。5位「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」11.6%（同▲0.1ポイント）は前回順位8位から上昇。前回6位だった「金利負担の増加」10.6%（同▲1.8ポイント）は前回順位と同じ、前回同率6位だった「購買ニーズの変化への対応」10.2%（同▲2.2ポイント）は今回7位と下降した。8位「需要の停滞」10.0%（同▲3.3ポイント）は前回5位から下降。9位「新規参入者の進出や同業者の増加」8.4%（同+0.1ポイント）、10位「生産設備の不足・老朽化」6.7%（同▲1.0ポイント）は前回順位と同じ。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	220	44.9%	— 1	11	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	30	6.1%	— 11
2	人件費の増加	166	33.9%	— 2	12	事業資金の借入難	26	5.3%	— 12
3	人件費以外の経費の増加	153	31.2%	— 3	13	大企業(大型店)進出による競争激化	20	4.1%	— 13
4	従業員の確保難	146	29.8%	— 4	14	取引条件の悪化	17	3.5%	— 14
5	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	57	11.6%	↑ 8	15	在庫の不足	10	2.0%	↑ 16
6	金利負担の増加	52	10.6%	— 6	16	購買力の他地域への流出	9	1.8%	↑ 17
7	購買ニーズの変化への対応	50	10.2%	↓ 6	17	在庫の過剰	8	1.6%	↓ 15
8	需要の停滞	49	10.0%	↓ 5	17	代金回収の悪化	8	1.6%	— 17
9	新規参入者の進出や同業者の増加	41	8.4%	— 9	19	生産設備の過剰	0	0.0%	— 19
10	生産設備の不足・老朽化	33	6.7%	— 10					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。

事業者の声

仕入れ単価、下請けの上昇

材料費の値上げなどにより採算がやや悪化している。



人件費の増加

従業員人数は適正に確保できているものの、人件費が増加しており現金確保が難化している。



従業員の確保難

従業員が高齢化しているが、若い人材の採用が思うようにすすんでいない。



販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難

材料費については、引き続き高値で推移しており、価格転嫁が課題となっている。



第92回調査実施概要

- 1.調査時期：2025年6月19日～7月4日
- 2.対象期間：2025年4月～2025年6月期、および2025年7月～2025年9月期見通し
- 3.調査対象：支部会員中小企業(約3,503社) ①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②～④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下
- 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAX・インターネットにて回収。区内金融機関に協力依頼。
- 5.回収状況：合計490社(回収率=14.0%) 製造業…54社・不動産業…50社・小売業(飲食業含む)…94社・建設業…99社・卸売業…60社・サービス業…133社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

お問合せ 東京商工会議所世田谷支部 TEL：03-3413-1461